記者発表資料

令和２年１月１６日
最上川水系水質汚濁対策連絡協議会

「川をきれいにする児童図画」の入選者を表彰

～～ 最高賞の特選に選ばれた児童に賞状の伝達を行います～～

「川をきれいにする児童図画」は、子供達に川をみてもらい、川をきれいにの気持ちや関心を高めてもらうことを目的として、最上川流域の小学生を対象に最上川水系水質汚濁対策連絡協議会（※）が毎年実施しているものです。

「ポスター部門」「川景部門」の２部門の募集をしており、今年度は、県内１４３の小学校から合わせて２,８４７点の応募がありました。

この度、令和元年度の入選作品計２２２点を決定し（審査員長　山形県教育センター　指導主事　布施弘好氏）、両部門の最高賞である特選に選ばれた児童２名に直接賞状の伝達を行います。

〇特選受賞者

・ポスター部門
　田邊 楓（たなべ かえで）さん〔山形市立南沼原小学校 ５年〕

・川景部門
　大場 雄翔（おおば そら）さん〔最上町立富沢小学校 ２年〕

（別紙）

〇賞状の伝達

・ポスター部門
　日　時：令和　２年 １月２１日（火）１０時３０分から
　場　所：山形市立南沼原小学校　校長室
　　山形市富の中１丁目１番４号
　伝達者：国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所
　　寒河江出張所長　宮崎　裕之

・川景部門
　日　時：平成　２年 １月２０日（月）１３時１５分から
　場　所：最上町立富沢小学校　校長室
　　最上郡最上町富澤１１６８
　伝達者：国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
　　鳥越出張所長　古谷　和弘

（随時取材可能です）

〇作品の展示

特選、金賞及び銀賞の作品を、県内４箇所で１月１９日（日）から２月１９日（水）までの期間展示します。（詳細は別紙参照）

〈発表記者会〉山形県政記者クラブ・新庄新聞放送記者会

〈 問い合わせ先 〉
・山形市立南沼原小学校　教頭　須藤（すとう）　征治（まさはる）
　山形市富の中一丁目１番４号（TEL 023-643-3010）
・最上町立富沢小学校　　教頭　髙橋（たかはし）　敏彦（としひこ）
　最上郡最上町富澤１１６８（TEL 0233-45-2811）
・最上川水系水質汚濁対策連絡協議会
　事務局　国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所
　河川管理課長　藤原（ふじわら）　孝徳（こうとく）
　山形市成沢西四丁目3-55（TEL 023-688-8942　FAX023-688-8392）

※　最上川水系水質汚濁対策連絡協議会(会長 国土交通省 東北地方整備局 河川部長　：　国土交通省、経済産業省、山形県、山形県警察本部、最上川水系に所在する３２市町村、東北電力(株)で構成)は、最上川水系の河川について、河川水質汚濁対策に関する関係機関相互の連絡調整を図ることを目的として、昭和４７年３月２８日に設立されました。

＜入選者数内訳＞

区　分	ポスター部門	川景部門	計
特　選	１	１	２
金　賞	８	２	１０
銀　賞	１６	５	２１
銅　賞	２９	１１	４０
佳　作	１１３	３６	１４９
合　計	１６７	５５	２２２

＜展示予定箇所及び期間＞

施　設　名	地　域	開　始	終　了
霞城セントラル	村山	１月１９日(日)	１月２３日（木）
伝国の杜	置賜	１月２４日(金)	２月４日（火）
酒田市総合文化センター	庄内	２月　７日(金)	２月１１日（火）
新庄ゆめりあ	最上	２月１３日(木)	２月１９日（水）

別紙

【ポスター部門特選作品】



◆審査員長コメント（抜粋）
　画用紙を縦に使い、手前の川と土、中央の滝、そして奥に木々や葉を描くことによって奥行きを感じさせる構図となっています。滝を正面から捉え、時間をかけて色を重ねることによって、滝の流れや水しぶき、奥の木々や葉の色の違いも丁寧に表現されています。文字の色も川を青に、未来を赤にする工夫がなされています。滝の音や木々の葉の揺れる音、そして爽やかな風を感じさせる作品に仕上がっており、この滝の情景を、ずっと見ていたい、未来へ残していきたいという気持ちが素敵ですね。

【川景部門特選作品】



◆審査員長コメント（抜粋）
　水中ゴーグルをつけて、川の中に入っている自分自身なのか、それとも入っていることを想像して描いたのでしょうか。どちらにしても川の中で魚と戯れている様子が印象的です。上半身を大きく入れて、腕の動きや手の大きさ、魚の向きや動きが工夫されています。川の中の魚の色をよく観察し、うろこがきらきらしている感じを、カラフルに表しています。川の中で泳いでいる魚それぞれにも表情があり、頭（顔）の色が一尾ずつ違っているのも面白いですね。見ている側も、川の中で元気な魚を見ている気分にさせてくれる作品です。